

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(春)はヘデントールが優勝

5月4日(祝・日)に行われた天皇賞(春)(GⅠ)では1番人気のヘデントール(牡4歳/美浦・木村哲也厩舎)が優勝、GⅠ初制覇を果たしました。

●M.ディー騎手がJRA初勝利をあげる

5月4日(祝・日)の2回東京4日・第9レースとして行われた府中Sではアスクカムオンモアが1着となり、同馬に騎乗したマイケル・ディー騎手(ニュージーランド)は、JRA初勝利(35戦目)をあげました。

●新谷功一調教師がJRA通算100勝を達成

5月3日(祝・土)の2回京都3日・第4レースではサンライズシュガーが1着となり、同馬を管理する新谷功一調教師(栗東)は現役142人目となるJRA通算100勝(延べ1343頭目)を達成しました。

●JRAブリーズアップセール開催

4月29日(祝・火)、中山競馬場にて「2025 JRAブリーズアップセール」が開催されました。上場された76頭のうち75頭(牡40頭・牝35頭)が売却され、売却率は98.7%、総売却価格は9億3137万円(税込)でした。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●シャルがかしわ記念(船橋)を連覇、人気のコスタノヴァは3着

かしわ記念(JpnⅠ、5月5日、船橋、1600m)は、ピッタリと2番手に付けた2番人気のシャル(川須栄彦騎手、牡7歳、父スマートファルコン)が、逃げ粘るウィリアムパローズを残り50mで捉えて半馬身差を付け、かしわ記念連覇を達成。単勝1.5倍で断然人気のコスタノヴァは更にクビ差及ばず3着、3番人気のロードフォンスは4着、タガノビューティーは7着でした。なお、ポタジェは競走中に右前肢跛行を発症し、4コーナーで競走を中止しています。

●名古屋グランプリ(名古屋)でサンライズジバングが重賞3勝目

名古屋グランプリ(JpnⅡ、5月6日、名古屋、2100m)は、中団から早目に進出した1番人気のサンライズジバング(坂井瑠星騎手、牡4歳、父キズナ)が3、4コーナー中間で抜け出し、シンメダジー(高知)に2馬身差で完勝、不来方賞、みやこSに次ぐ重賞勝ちを果たしました。2番人気の昨年の覇者ノットウルノは3着、ハギノアレグリアスは5着、3番人気のセラフィックコールは6着、途中から逃げたメイショウフンジンは11着に終わっています。

●日高賞(水沢)は1番人気の大井フリーダム【各地の主要3歳重賞】

日高賞(4月20日、水沢、1600m、牝馬)は、2番手から3コーナー手前で先頭に立った大井からの遠征馬フリーダム(父シャンハイボビー)が後続を4馬身引き離し、単勝1.3倍の支持に応えました。

●5月14日のエンプレス杯(川崎)に無敗馬オーサムリザルトが登場

エンプレス杯(JpnⅡ、5月14日、川崎、2100m)は、デビュー以来8戦全勝の昨年の優勝馬オーサムリザルトが、無傷の連勝を伸ばせるかどうか最大の焦点となり、以下JpnⅠ馬アンモシエラ、テンカジョウ、サンオークレア(北海道)、ネバーモア、フェブランシェ(大井)、アンデスピエントまでが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ケンタッキーダービー〜ソヴリンティが制す

現地5月3日にアメリカ・ケンタッキー州のチャーチルダウンズ競馬場で行われたG1ケンタッキーダービー(3歳、ダート2000m)は、不良馬場の中、後方でレースを進めたソヴリンティ(牡3歳、父イントゥミスターフ)が長くいい脚を使って優勝しました。1馬身半差の2着にG1サンタアニタダービーの勝ち馬ジャーナリズム。日本から参戦したルクソールカフェとアドマイヤデイトナはそれぞれ12着、19着でした。ドバイのモハメド殿下が率いるゴドルフィンの自家生産馬であるソヴリンティは昨年10月に今回と同じチャーチルダウンズ競馬場で行われたG3ストリートセンスS(ダート1700m)を5馬身差で制して重賞初制覇を果たすと、今年3月1日のG2ファウンテンオブユースS(ダート1700m)も連勝。しかし前走3月29日のG1フロリダダービーは差し届かず、タッパンストリート(のちに骨折)の1馬身1/4差の2着でした。J. アルバラード騎手はこのレース初制覇。W. モット調教師は2019年のカントリーハウスに続く2勝目です。

●G1英2000ギニー〜ルーリングコートが優勝

5月3日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われたG1英2000ギニー(3歳牡牝、芝1600m)はルーリングコート(牡3歳、父ジャスティファイ)が差し切り勝ちを収めました。同馬はゴドルフィンの所有馬。昨年7月のデビュー戦(芝1400m)に優勝した後、8月のG3エイコムSは3着でシーズンを終了。今年は3月にドバイで行われたジュメイラ2000ギニー(リステッド、芝1600m)を6馬身差で圧勝して、ここに臨んでいました。W. ビュイック騎手とC. アップルビー調教師はこのレース連覇です。